

石川方部商工会広域連携協議会

令和 2 年度 経営発達支援計画

事業実施評価委員会 報告書

■構成商工会

- 石川町商工会
- 玉川村商工会
- 浅川町商工会
- 平田村商工会
- 古殿町商工会

■開催

- 日時：令和 03 年 2 月 22 日（火）午後 2 時～

■出席者：評価委員長 鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）

評価委員

外部有識者 柴田 幸紀（中小企業診断士）

地区内行政 南條 貴之（石川町）

野崎 智之（玉川村）

角田 寛典（浅川町）

阿部 久仁子（平田村）

緑川 孝之（古殿町）

商工会 須藤 浩二（浅川町商工会）

渡部 高一（平田村商工会）

欠席者

（欠席者については事前に実施内容を説明し評価を受ける）

野崎 一幸（玉川村商工会）

阿久津 智以（古殿町商工会）

齋藤 一彦（石川町商工会）

職員については事務局長及び経営指導員

■評価方法：実施した内容を職員が報告書及び資料・別紙を使用しながら説明し、評価委員が A・B・C・D の 4 段階で評価を行う

※計画については事前に説明してあるため記載及び説明を省略した。

◎実施結果

新型コロナウイルス感染症の影響により市場動向が不透明な中、身近な事業者の現在の景況感を調査し他地区の調査結果と比較したことにより、現状の地域事業者と国内他地区の現状を把握することにつながった。

◆実施報告及び評価

① 事業者からヒアリングによる独自調査の実施

- ・報告者 矢吹経営指導員（古殿）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	7	5	0	0

② HP等での公表による情報提供

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	4	6	2	0

◇評価コメント

- ▼地域の経済動向調査において、中小企業の景気の良し悪しの実感である景況感の把握を行い、地域全体の景気の流れを把握するために、有用な調査となります。
本年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、様々な業種における景気後退が改めて浮き彫りになりました。
- ▼例えば、2020年11～12月の景況感については、今期の景気が良いと答えた事業所は3.3%、悪化傾向にあると答えた事業者が73.4%とという結果となっております。
また、次年度以降の見通しについても景況感が悪いと予測している企業が7割以上を占めており、コロナウイルス感染症の影響が続くものと予想されておりました。
- ▼景況感の厳しい時期における調査は困難な場面もあるかと考えますが、調査数においては平成30年度の43者と比して令和1年度は74者と増加しましたが、令和2年度は68者と微減ではありますが、調査結果は社会の経済動向を如実に示しており、調査結果に関して評価に値するものと考えます。

《 2、経営状況の分析に関すること 》

○計画

石川地区内で地域資源を活用した6次化商品の提供に取り組んでいる事業者や第2創業、事業承継、各種制度や補助金の活用を検討している小規模事業者に巡回や窓口相談の際に経営状況の分析やその後の事業計画の策定の必要性や重要性を説明し、積極的に取り組み事業者の掘り起こしを行う。

【目標値：経営分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
	18	6	6	6	6	42

●実施内容

【独自の分析シートによる経営状況の分析の実施】

コロナ禍に於いて、事業者が経営を継続するために必要な資金の調達や各種補助制度を活用し経営の安定を図る中、事業者の経営状況分析を行い現状の把握を行った。

実施方法としては、経営状況分析の必要な事業者が経営分析シートに記入することで自社の現状を把握した後に細かい内容について職員がヒアリングを実施後に事業者の経営状況の分析を行った。

【実績値：経営分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	18	6	6	6	6	42
R01	55	6	6	19	8	94
R02	75	7	7	8	6	106

◎実施結果

新型コロナウイルスの感染症リスク回避のために消費が冷え込む中、事業者が自社の現状と全国の実情を把握したことで、今後の経営や資金調達のスケジュールリングの策定に繋がった。

◆実施報告及び評価

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	9	3	0	0

◇評価コメント

- ▼本年度は、コロナ禍における経済停滞への対策として、持続化補助金、ものづくり補助金等においてコロナ特別枠が設置されたことで、より多くの地域事業者が補助金の活用を進めてきました。
- ▼申請において適切な形で経営分析を行うことが採択に向けて大変重要となり、これまでのノウハウを蓄積した経営分析シートは事業者支援に大きく寄与したものと思われます。
- ▼次年度においても小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金、期待の高い事業再構築補助金等、様々な補助金が公募される予定となりますが、これまでの支援ノウハウの共有化を図り、より一層の成果を期待します。
- ▼経営分析を行った事業者数は、平成30年度42者、令和1年度94者、令和2年度106者と増加しており、着実な成果が表れています。

《 3、事業計画策定支援に関すること》

①経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定支援

○計画

経営分析を行い課題解消に向けた対応策の提案を行った小規模事業者に対し、より具体的な改善策・アクションプランを考える機会として事業計画の策定を提案する。

従来、短期的な目標設定であった計画を中長期的な視点へ切り替え、地域経済動向や需要動向を踏まえた、実行可能で持続的発展ができる事業計画の策定支援をする。

【目標値：経営状況の分析を実施後に事業計画策定支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	12	4	4	4	4	28

●実施内容

【事業者が記入した経営シートのブラッシュアップによる計画策定支援】

経営分析シートの記入により自社の経営内容を把握し、職員と外部専門家により実行可能な事業計画書の作成支援に取組んだ。今後の利益計画も含め事業計画の策定を支援した。

具体的には、小規模事業者持続化補助金や福島県いきいき支援事業等の活用の際に経営状況の分析結果を利用し、事業計画策定に取組んだ。

【実績値：経営状況の分析を実施後に事業計画策定支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	40	6	5	13	7	71
R01	45	6	6	9	4	70
R02	81	8	12	3	6	110

◎実施結果

経営分析シートを事業者が記入し現状の把握をしたことより、コロナ禍に於いての事業の継続へ向けた、実行可能な事業計画の策定や資金調達に繋がった。

②経営セミナー・事業承継セミナーを開催し、受講者の事業計画策定支援

○計画

経営セミナー・事業承継セミナーを各単会で年1回以上開催し、事業計画の活用方法などについて説明する。このセミナー受講者の中で、事業計画策定の重要性を感じた小規模事業者を発掘し、経営状況を分析後、事業者の地域経済動向や需要動向を踏まえた、より実行可能な事業計画の策定を支援する。

【目標値：事業計画策定へ向けたセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【セミナー受講者への事業計画策定の必要性の啓蒙と策定の支援】

経営を持続的に行うためには、現状の置かれている環境に沿った経営計画の策定が重要であることを説明し、セミナー中に計画書の策定に取り組んだ。

特に 2019 年に発生した台風 19 号により当地区も大きな被害を受けた事業者も多いこともあり、BCP（事業継続計画）策定が必要であることから「BCP 策定セミナー」を開催し、事業者の今後の事業継続へ向けた計画書の策定に取り組んだ。

【実績値：事業計画策定へ向けた経営セミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	3	3	3	3	3	9
R01	3	3	3	3	3	9
R02	3	3	3	3	3	9

【実績値：セミナーの受講者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	28	5	4	7	8	52
R01	28	1	2	4	4	39
R02	36	2	1	3	2	44

◎実施結果

事業を継続するために事業者が被災した際にスムーズな行動で早急に事業再開のための BCP の策定のセミナーを開催し BCP の策定の必要性を説明したことにより、実際に災害対応計画書を策定した事業者が多くみられた。

③創業者の発掘へ向けた創業セミナーの開催による事業計画策定

○計画

創業を考えている創業希望者を発掘するための、創業セミナーと個別相談会を年 1 回以上開催し創業への啓蒙活動に取り組むとともに、地域経済動向や需要動向を見据えた、実現可能な事業計画書の策定を支援する創業セミナー実施については、国の産業強化法に基づいて石川地区内 5 町村が連名で認定を受けた創業支援事業計画に基づき、行政を主とした石川地区創業支援団体連絡協議会と連携しながらセミナー開催や、創業計画の策定支援をおこなう。

【目標値：創業者発掘へ向けたセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【地区内で連携し創業者の発掘と起業支援の実施】

石川地区 5 町村で認定を受けている特定創業支援事業からの委託を受け創業支援事業者として 9 月より特定創業支援メニューを組み込んだ「創業セミナー」を 4 日間、創業と経営に必要な知識習得のセミナーを開催した。周知については地区内の全戸配布と地域情報誌「月間すかつと」を活用し、地区内で創業を考えている方々の発掘に取り組んだ。

【実績値創業者発掘に向けた創業セミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	4	4	4	4	4	20
R01	4	4	4	4	4	20
R02	4	4	4	4	4	20

【実績値：創業セミナー受講者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	9	1	1	3	2	16
R01	8	2	2	2	0	14
R02	4	3	3	5	1	16

【実績値：創業セミナー参加者の事業計画策定者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	1	2	1	6
R01	7	1	0	2	0	10
R02	2	2	3	4	1	12

◎実施結果

コロナ禍に於いて創業や事業承継を考えている方々に、経営の方法・顧客ターゲットの設定や資金繰りの重要性等を説明し、最終日には各自の策定した事業計画のプレゼンテーションを行い、ブラッシュアップに取り組んだ。これにより、より実行可能な創業支援に取り組んだ。

◆実施報告及び評価

①経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	7	5	0	0

③ 経営セミナー・事業承継セミナーを開催し、受講者の事業計画策定支援

・報告者 佐藤 信 経営指導員（石川）

・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	5	6	1	0

④ 創業者の発掘に向けた創業セミナーの開催による事業計画策定

・報告者 藤田経営指導員（広域主任）

・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	5	7	0	0

◇評価コメント

▼事業計画策定に関しては、本経営発達支援事業内の取組を様々な角度から活かすべきものとなります。地域経済動向による外部環境の把握や需要動向調査による消費者ニーズの抽出等、計画策定において必須事項となります。

▼実績として事業計画を小規模事業者持続化補助金や福島県いきいき支援事業等、国、県の制度に活かすことで、事業者にとって、より実戦的な活用に繋がったと考えます。

▼また、セミナーの内容については、事業承継や創業という地域の活力維持のために必要なテーマの他、国の方針や石川地区では昨年の水害被害もあり、関心の高まりをみせていた事業継続力計画（いわゆる BCP 計画）と多岐に渡り、幅広い事業者のニーズに応えるものとなりました。

▼数値推移をみると、事業計画策定支援対象事業者数は平成 30 年 71 者、令和 1 年 70 者に対し、本年度は 110 者と大幅に増加しており、事業者支援を拡充されていることがみてとれます。また、セミナー受講者数においても BCP 策定セミナーの受講者数 44 者、創業セミナー受講者数 16 名と多くの受講者であることも石川地区商工会の強みとなっています。

《 4、事業計画の策定後の実施支援に関すること》

①巡回指導による事業計画の進捗管理とフォローアップ

○計画

経営指導員が事業計画策定事業者に4半期ごとに巡回指導をおこない、事業計画の進捗状況を確認する。これにより、現状の把握と実行課題の抽出を行い、改善が必要な場合は小規模事業者とともに改善策を検討する。

【事業計画策定後の進捗管理フォローアップ巡回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	48	16	16	16	16	112

●実施内容

【事業者へ訪問し計画実行の管理】

自社の経営状況の分析後に事業計画を策定に取り組んだ小規模事業者に対し、計画の進捗状況の把握及び管理やコロナ禍に於いての業種別の状況についての情報提供も踏まえ事業所へ訪問し支援やアドバイスに取り組んだ。

【実績値：事業計画策定後の進捗管理フォローアップ巡回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	45	12	12	22	13	104
R01	139	12	28	66	7	252
R02	503	13	93	63	39	711

◎実施結果

新型コロナウイルスの国内の感染状況で売上や受注が大きく変化する中、策定した事業計画や資金繰り計画等の進捗管理を定期的に事業所訪問することで事業の継続支援に繋がった

②創業スクール受講者のフォローアップ

○計画

創業スクールを受講した創業者すべてを対象として、創業計画・事業承継計画等が着実に遂行されているか確認し、必要な指導・助言を行い、経営力強化等のセミナーや労務管理等の研修会、支援連携機関の事業等の情報を提供し参加の必要性を伝え、事業の安定へ向け研修参加を促し、策定された創業計画が具現化されるようフォローアップを持続的に行う。

【目標値：創業者フォローアップ回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	36	12	12	12	12	84

●実施内容

創業スクールの受講生に対し外部専門家を招聘し事業計画についてのブラッシュアップも含めたアドバイスと創業へ向けた「やるべきこと」の説明を行い、今後の円滑な計画実行を支援した。

【実績値：創業者フォローアップ回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	218	0	0	71	0	289
R01	62	32	0	25	0	119
R02	39	13	13	39	13	117

◎実施結果

セミナーで策定し、プレゼンテーションでブラッシュアップを図った事業計画を基に外部専門家より創業までの取組と過去に創業した事業者への持続的な経営へ向けたきめ細やかな支援に取り組んだ。

◇実施報告及び評価

① 巡回指導による事業計画の進捗管理とフォローアップ

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	8	4	0	0

② 創業スクール受講者のフォローアップ

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	9	3	1	0

◆評価コメント

- ▼事業計画の着実な実行を支援するにあたり、フォローアップは大変重要となります。進捗管理をきめ細やかに行う取り組みは、石川地区商工会の特徴でもあり、新型コロナウイルス感染症で厳しい環境に置かれている事業者にとって、大きな支えとなったものと思料します。
- ▼また、創業スクール受講生が、実際に創業に至るにあたり創業スクールではカバーが難しい様々な個々の問題点が出てきます。それらの解消も含めた個別フォローアップは大変重要な意義を持ち、今後、更なる充実を期待します。
- ▼数値推移をみると、事業計画策定後の進捗管理フォローアップが令和1年度の252者に対し本年度は711者となっており、大変素晴らしい結果となっています。

《 5、需要動向調査に関すること 》

○計画

石川地区内の加工食品の新商品の開発及び商品改良などに取組んでいる小規模事業者の新たなビジネス展開を図るため、商品の市場や消費者のニーズの把握と潜在的需要の見える化し、市場や消費者ニーズに合った新商品の開発及び商品改良へ取り組むための調査を行う。

【目標値：収集アンケート調査数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	50	50	50	50	50	250

【目標値：アンケート調査実施事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【商品改良へ向けたマーケティング調査の実施】

例年、東京ビッグサイトで開催される商談会でヒアリング調査を実施していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、商談会中止となりマーケティング調査は中止とした。

【実績値：収集アンケート調査数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	52	12	12	12	12	100
R01	35	35	35	32	0	140
R02	0	0	0	0	0	0

【アンケート調査実施事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	2	1	1	1	0	5
R02	0	0	0	0	0	0

◇実施報告及び評価

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	3	4	0	4

◆評価コメント

- ▼当初予定されていた商談会が中止となり、本調査においては調査方法の変更を余儀なくされました。
- ▼そのため、今後ますます重要性が高まる EC サイトによる販路拡大に向けて、現在設置されている EC サイトについて、消費者ニーズに応えるものになっているかについての調査となりました。
- ▼需要動向調査報告書によれば、改善点も見られ、本需要動向調査を活用した支援を今後求められます。

《 6、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 》

③売れる商品づくりの支援

○計画

加工食品を取扱う事業者を毎年7社ピックアップし、消費者が手に取りやすい商品づくりを支援する。また、使用用途や家族構成によって商品の消費量が変わることを踏まえた内容量の変更や商品によって変わる購入年代に対応したパッケージングデザイン等の改良など、商品開発と改良へ向けた提案を行う。

【売れる商品づくり支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	3	1	1	1	1	7

●実施内容

【地区内加工食品の商品見直し支援】

地区内で加工食品の製造販売に取り組んでいる事業者に対し商品開発やパッケージングデザイン等の改良を行うために商談会に参加しモニター調査を実施後に商品改良を行っていたが、商談会等が中止となったため事業実施しなかった。

【商品づくりセミナー受講者数数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	3	1	1	1	0	6
R02	0	0	0	0	0	0

【売れる商品づくり支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	5	1	0	3	2	11
R01	4	2	2	2	0	10
R02	0	0	0	0	0	0

◎実施結果

なし

②加工食品の展示会・商談会の出展支援

○計画

全国からプロのバイヤーが新たな取引先を求めて集まる商談会「地方銀行フードセクション」や「スーパーマーケットトレードショー」などに共同出店ブースを確保し小規模事業者の販路拡大を支援する。出展の際には商品のアンケート調査を実施し、今後の売れる商品づくりへブラッシュアップの参考資料として活用する。

【目標値：展示会・商談会参加事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	3	1	1	1	1	7

【目標値：商談会参加による取引成約件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	6	2	2	2	2	14

●実施内容

商品改良と新たな取引先の獲得に取り組みを検討している事業者に東京ビッグサイトで開催している商談会に参加する予定であったが、リモートによる開催や中止のため今回は事業実施なし。

【実績値：展示会・商談会参加事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	2	1	1	1	0	5
R02	0	0	0	0	0	0

【実績値：商談会参加による取引成約件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	7	0	0	3	0	10
R01	5	1	5	2	0	13
R02	0	0	0	0	0	0

◎実施結果

なし

③IT活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援

○計画

小規模事業者の経営スキルを上げる取り組みとして、インターネットを活用した新たな販路開拓手法に係るセミナーを開催する。これにより新たなビジネスチャンスにつなげ、BtoB及びBtoCの新たな取引成立を目指す。

【IT活用経営スキル向上 事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	15	5	5	5	5	35

●実施内容

【IT活用 ECセミナーの開催】

コロナ禍において売り上げの確保を目的とし小規模事業者のIT活用による新たな販売への取り組みとして、売れるECサイトを開設し運営管理方法に関する説明するセミナーを開催し、IT活用でECサイトの運営による販路開拓に向けて支援を行った。

【IT活用経営スキル向上 事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	7	0	0	2	0	9
R01	0	5	0	0	0	5
R02	11	1	0	1	3	16

◎ 実施結果

セミナーを開催し参加した事業者からはITが簡単で身近であることが伝わり、遊び感覚でITを始める事業者も出た。ITについて自主的に取り組むことに繋がった。

◇実施報告及び評価

①売れる商品づくり支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	0	1	0	11

② 加工食品の展示会・商談会の出展支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	0	1	0	11

④ IT活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域主任）
- ・評価結果

評価	A	B	C	D
人数	5	7	0	0

◆評価コメント

▼本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた事業であり、商談会等の中止により、「売れる商品づくり」、「加工食品の展示会・商談会の出展」を実施することができなかったため、次年度は商談会が開催され、本事業が遂行されることを期待します。

▼一方、今後の需要開拓に向けて、IT ツールの活用は必須であり、SNS 等、活用の幅を広げることは重要と考えます。その中で、EC セミナーを通し、受講事業者の IT スキルの向上を図られたことは、今後の新規需要開拓に寄与するものと期待します。

《7、経営指導員等の資質向上に関すること》

○計画

経営指導員・経営支援員は小規模事業者に対する支援の実効性を検証し、修正や確認を行なう中で経営指導員等個々の支援手順やレベルの個々の支援資質の向上を図る。

この取り組みにより習得した支援能力について、広域連携内で情報交換会を開催し、他の職員に説明することにより、職員の資質向上を図る。

●実施内容

小規模事業者への支援スキルの向上を図るため、経営支援員を対象に職員スキルアップセミナーを開催した。出席者各自が今後の事業者支援に対し発表し、支援方法の情報共有と公的な支援について検討した。

【職員スキルアップセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	3	3	3	3	3	15
R01	2	2	2	2	2	10
R02	4	4	4	4	4	20

●実施結果

参加した職員は事業者からの問い合わせも含めた対応スキルの習得へ向け研修に取り組んだ。

■ 実施報告及び評価

○報告者 佐藤 広経営指導員（石川）

○評価結果

評価	A	B	C	D
人数	7	2	1	0

○評価コメント

▼本取組は、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的として、様々な知識、手法の習得を行うものになりますが、職員スキルアップセミナーに参加した経営指導員、支援員にとり、PDCA サイクルを推進するための指針となったと考えます。

▼今後も様々な事業を通して、より多くの会員へ本成果を還元し、事業者を支える存在として活躍されることを期待します。

(まとめ) 総括

▼本年度は経営発達支援計画事業の3年目となりました。ここまで、様々な事業を通し、地域の小規模事業者の持続・発展に寄与してきたものと考えます。

また、各種事業の運営、実行に携わることで経営指導員、経営支援員の資質向上に繋がったものと思われます。

更には、行政機関と支援体制構築に向けた連携により、地域課題の包括的な把握や共有の役割も果たしてきました

▼その一方、現在のコロナウイルス感染症の他、一昨年台風による水害といった災害に多く見舞われ、厳しい環境下への対応も求められました。

▼社会環境が大きく変わる中、経営発達支援計画における事業遂行は今後の事業者支援、地域振興において大きな糧となったのではないのでしょうか。

次年度の経営発達支援計画事業においては、これまでの3年間の経験を活かし、当地域の事業者及び商工会の発展を期待します。